

企業研修生の歓迎会

会員 大沢由美子

私はドイツ語がさっぱりわからない。ドキドキしながら会場のレストラン・ヴェルデへ。ホームステイ先のご夫妻によって、本人よりも先にギターが到着。

会話はすべて日本語だった。皆さんの様々な質問で話が広がる。企業研修生のヤン・ルッペルトさんは日本のアニメに興味があるとのこと。「ドラえもん」が世界の子供の共通語と聞いたことがある。お国柄の違いというよりも年代の違いを感じた。彼はベルリン自由大学の学生で24才ということであった。歓迎会の最後は彼のギター、本間さんのフルート、そして我々の歌で楽しいひとときを過ごした。(8月27日開催)



企業研修生 ヤン・ルッペルト氏 を囲んで

日本で楽しめるOktoberfesta

● 9/28(水)～10/2(土) 東京 Oktoberfesta

神宮外苑 絵画館前広場

歌舞伎町 シネシティ広場

● 9/30(金)～10/10(月) 横浜 Oktoberfesta

赤レンガ倉庫前広場 11:00～21:00

※30日は18:00～21:00

※10/5(水)は夕刻、合唱団アムゼル出演予定!!

湘南日独協会2005年度活動予定

■ 10月22日(土) 会員懇話会 午後6時

卓話「あるドイツ書専門店の歴史」

講師 福本書院社長: 福本和子氏(86歳)

【お話の内容】

1. ドイツ書専門店が昭和元年に開かれた理由と推移
2. 昭和期の独文学者の方々の面影。
3. 当時どう言った本が売れたか?
4. 戦争中の思い出。
5. ドイツ古典文学の衰え…など

会場 湘南アカデミアサロン(藤沢駅から3分)

懇親会は別会場。

会費 500円 懇親会は各自払い。

■ 11月13日(日) かまくら国際交流フェスティバル

会場 高德院(鎌倉大仏) 境内 10:00～15:00

当協会では“日本に於けるドイツ年”行事の一環として、この行事に参加、ドイツ菓子の紹介と即売会を予定しています。

■ 11月26日(土) 第42回例会

チター演奏会

出演 内藤敏子氏(日本チター協会会長)

会場 湘南アカデミアサロン

※詳細は同封のチラシをご覧ください。参加の申込は別途往復葉書でご案内します。

■ 忘年懇話会

日時 未定 内容 未定 会場 未定

湘南日独協会会報(Der Wind)

VOL. 7. NO. 5. 通巻41. 発行 2005. 9. 25.

湘南日独協会

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan

事務局: 〒251-0025 藤沢市鵠沼石上1-1-1

江ノ電第2ビル7F

TEL0466-26-3028 / FAX0466-27-5091

湘南日独協会 会報

Der Wind

(風)

湘南日独協会 第41回例会 講演会

ドイツサッカーの魅力



奥寺康彦氏

日時 9月25日(日) 午後1時30分開会

講師 奥寺康彦氏

横浜フリエスポーツクラブ株式会社

代表取締役 ゼネラルマネージャー

会場 ホテル法華クラブ藤沢 ロータスホール

主催 湘南日独協会 後援 江ノ電沿線新聞社

問合せ 湘南日独協会事務局 TEL0466-26-3028

かまくら国際交流フェスティバル 協力者募集!!

11月13日(日)会場 鎌倉大仏境内 9:00～17:00

連絡先 TEL045-895-6845 水谷

05 年ドイツフェア

ドイツ語講師 レベッカ・ラドケ

ちょうど花火の季節の暑い土曜日の夕方、約180人が特別な目的のために集まって来ました。その目的は確かに私が朗読した詩「Die Lederhosensaga 革のズボンの伝説」(Börries von Münchhausen 作)に耳を澄ますよりもビールと栄養たっぷりの食事(ザウアークラウト、小さなソーセージなど)を楽しみに来たことでしょう。真夏の暑さのせいで **gemütlich** という単語は使いにくくなりますが、ホールはとても居心地の良い場所でした。

始めに Amseln という合唱団はすてきなドイツの歌を和声的に歌い、懐かしい思い出を呼び覚ました。その後に演奏した Edelweißkapelle についてもいえるものの、音の大きさはもちろん違い対照的でした。歌手のマリアの衣装はみごとで、カペレの人たちはドイツでも見つけにくいほどサンダルから帽子の羽まで本物でした。かれらは何度も Prosit を歌いビールを飲み、皆に飲むようすすめ、それはまさにピアホールさながらの雰囲気味わえました。その間、新しいメンバーの自己紹介や色々な報告がありました。

あれっ地震かなと周りを見渡すとポロネーズが始まったのです。ホールの中の気分が最高潮に達した時「Wenn es am schönsten ist, soll man aufhören 一番いい時はやめるべき時」という慣用句に従ってこの楽しいパーティが息を飲むようなスピードで終わりを告げました。赤

ちゃんがいる私は動作が遅くて、いつのまにか最後の客になりました。ビールは残念ながら飲めなかったけれどもとても面白い晩を過ごせたのです。



ドイツフェアに参加して

会員 川本智恵子

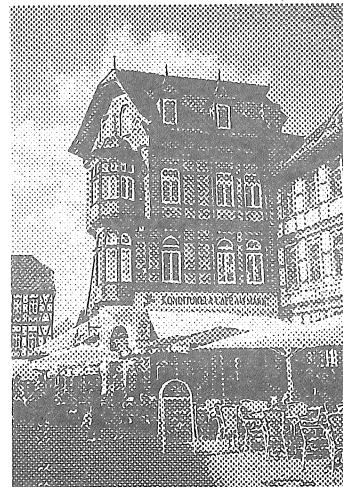
7月30日、友を誘い湘南の夏を彩るビール祭り「ドイツフェア」に参加しました。

川久保さんのなんともいえない親しみのある司会で始まり、恒例となった湘南日独協会合唱団「アムゼル」は梶井智子さんの指揮のもと、本当にすばらしいハーモニーで、今ではもう楽しみの一つになってしまいました。ドイツ料理を楽しみながら「エーデルワイス・カペレ」の陽気なチロル民謡、ドイツ民謡、重厚な行進曲の数々、スイス伝統の響き、アルペンホルン、クーグロックン、アコーデオン、ギター等々、底抜けに陽気なアルプス音楽はストレスのたまる時代を生きる日本人にとって癒しの響きでした。多くの人達が感銘を受けたことと思います。何回も乾杯をしながら次は織田会長、古橋理事によるウィンナーワルツ、そして参加者が一つになりムカデダンスで会は最高に盛り上がりました。

協賛のサッポロビールより缶ビールが各テーブルに3本づつ配られ、ジャンケンで勝った人にプレゼントされましたが残念ながら私は負けてしまいました。最後にコーヒート甘いものがあつたらな……と思ったのは私だけでしょうか。ドイツフェアの為に準備して下さった方々に心より感謝致します。

アムゼルとエーデルワイス・カペレの共演

ヴェロニゲローテの木組みの家↓



魔女の森ハルツ

会員 佐合 千佳子

7月中旬の2週間、ドイツの

Braunlageという小さな町の魔女(ドイツ人の友人)宅にホームステイ。友人は60代後半の未亡人だが、とてもエネルギッシュな方で、アウトバーンを160km以上のスピードを出し、滞在中、毎日の様に周辺の町を案内してくれた。Bundesstrasse (国道)を走りながら友人が「ほら見て、道が急にパッチワークになっているでしょう」と、89年に東西を分けていた壁の崩壊後、ドイツ政府は旧東側の復興にお金を使い過ぎたとか、それ故旧西側の道路は、アスファルトで応急的に補修した跡がパッチワークのようになっていた。

ある日の事、友人が「明日、シューマッハーの家に行くけど一緒に行く?」という、「えー!あの有名なF1レーサーの家に?」と喜んでいたら Schuhmacher とは靴屋の事だよー!だつてー、残念!!!

Drei annen Hohne から蒸気機関車に乗り、Brocken 山に登る時、車窓から見えるハルツの森の美しかった事。ゲーテの「ファウスト」に描かれヴァルブルギスの夜に魔女が集まる地として知られているBrocken の頂上には、高山植物園があり、エーデルワイスが可愛く咲いていた。Goslar や Wernigerode の色鮮やかな木組みの家々。 Bad Harzburg の温泉プールで森林浴をしながら泳いだ後、Strammer Max (目玉焼きとハムを乗せたパン)を食べながら飲んだ Weizen ビールの美味しかった事。毎夕食後に食べた Rote Grütze のロー杯に広がる甘酸っぱい香り。等々、思い出が一杯の旅になった。